

# お友達と一緒にだと嬉しいね♪

対象 4歳児さくら組  
作成日 2020年6月4日  
作成者 池下桃代

保育のねらい・友達と一緒に活動していることを嬉しく感じる。



## 保育の振り返り

・6月に入り、さくら組さんはお友達の名前を少しずつ覚えてきたようで、よくお友達の名前が飛び交うようになりました。一学期に入ってから、トイレのスリッパを揃えることを「スリッパさんお家に帰りたいていよると思う。」「まいごのまいごの♪スリッパさん♪」等、口酸っぱく揃えて欲しいことを言っていた私に対して、ある時、A君が「スリッパの赤ちゃんお家戻れんって泣きよるけん入れてあげな。」と揃えてくれる姿が見られました。（私はその瞬間、今まで言ってきたよかったな…と心をホッコリさせてもらえました。）また写真にも写っているように、体の方向を入口から背中向きにしてスリッパのお家の中（線の囲い）に入れてくれるようにもなりました。また、水の使い方もスリッパを揃えたことで変化してきたのか、「蛇口のお水はね、川の水と山の水と海の水がなくなるけん止めとかなね。」と子どもたち同士で水から関連づけて意識する言葉も聞かれ、4, 5歳児ならではの会話をこれからも大切に拾っていきたいなと感じさせられた瞬間でした。これから言葉は知識としてどんどん吸収されていく活発な時期ですね。言葉遣いが今よりもっと発達していくと思います。次は、自分の知った言葉を大切に相手にお話するためにどうしたらいいのかさくら組さんと一緒に話し合っていきたいなと思いました。（自立心、共同性、道徳性・規範意識の芽生え、思考力の芽生え、言葉による伝え合い、社会生活との関わり、自然との関わり・生命尊重）